

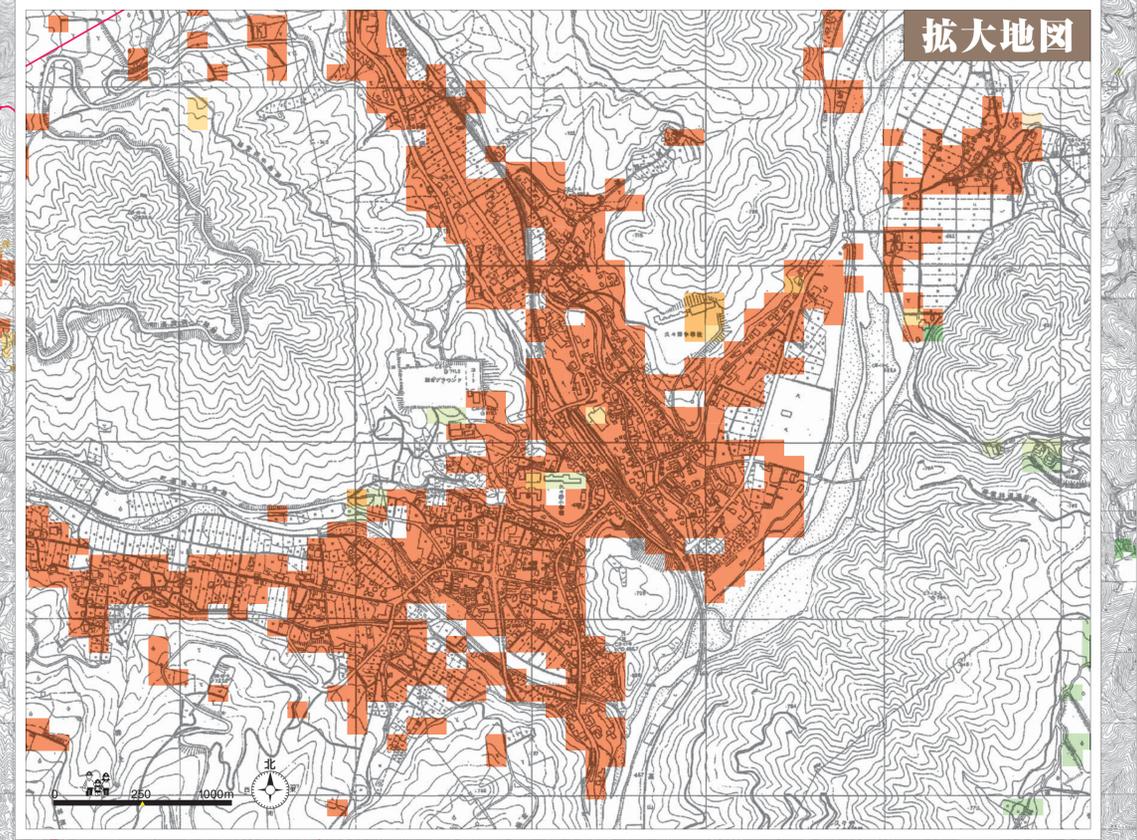
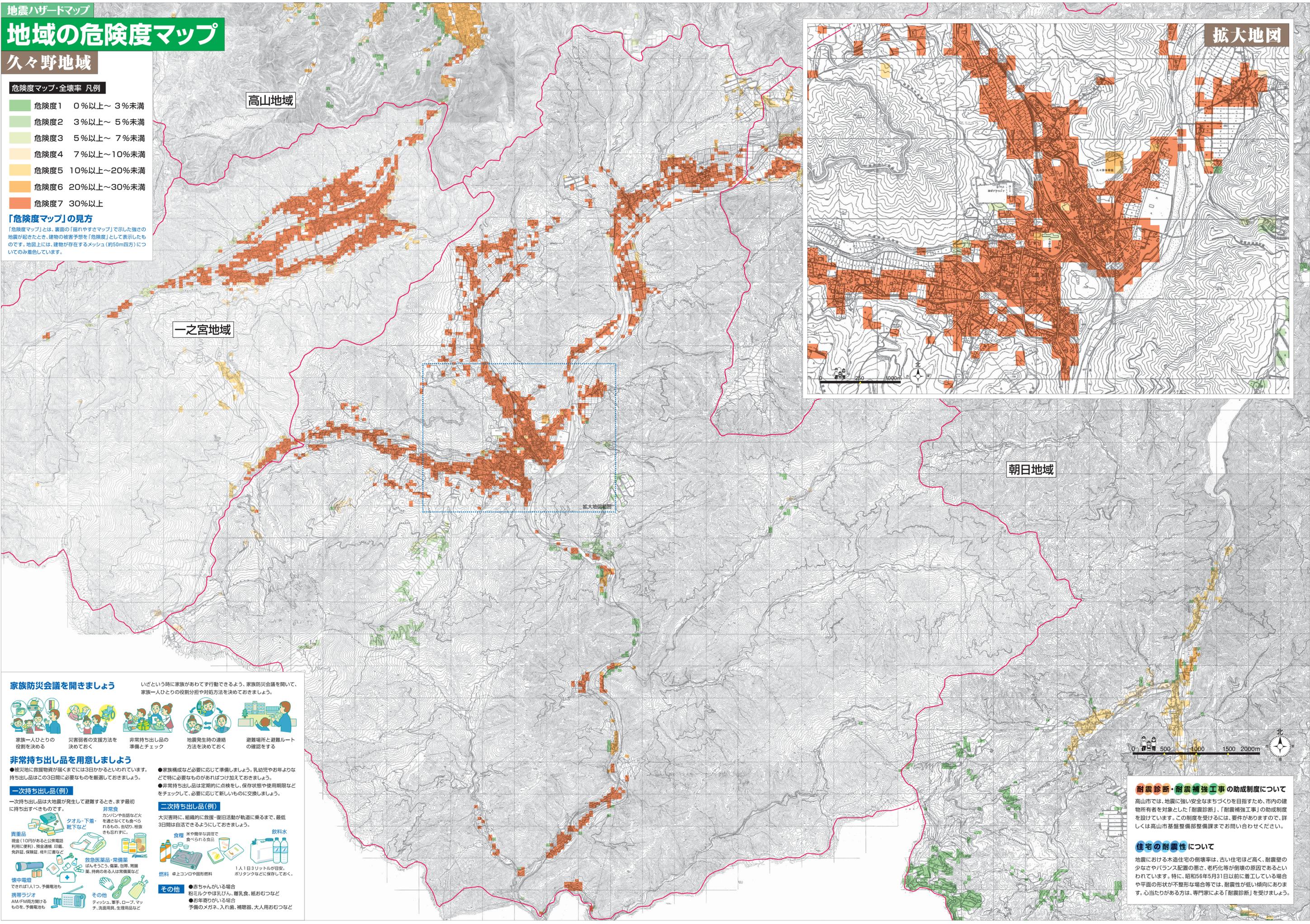
地域の危険度マップ

久々野地域

- 危険度マップ・全壊率 凡例
- 危険度1 0%以上～3%未満
 - 危険度2 3%以上～5%未満
 - 危険度3 5%以上～7%未満
 - 危険度4 7%以上～10%未満
 - 危険度5 10%以上～20%未満
 - 危険度6 20%以上～30%未満
 - 危険度7 30%以上

「危険度マップ」の見方

「危険度マップ」とは、裏面の「揺れやすさマップ」で示した強さの地震が起きたとき、建物の被害予想を「危険度」として表示したものです。地図上には、建物が存在するメッシュ(約50m四方)についてのみ着色しています。



家族防災会議を開きましょう

- いざという時に家族があわてず行動できるよう、家族防災会議を開いて、家族一人ひとりの役割分担や対応方法を決めておきましょう。
- 家族一人ひとりの役割を決める
 - 災害弱者の支援方法を決めておく
 - 非常持ち出し品の準備とチェック
 - 地震発生時の連絡方法を決めておく
 - 避難場所と避難ルートの確認をする

非常持ち出し品を用意しましょう

- 被災地に救援物資が届くまでには3日かかるといわれています。持ち出し品はこの3日間に必要なものを厳選しておきましょう。
- 家族構成など必要に応じて準備しましょう。乳幼児やお年寄りなどで特に必要なものがあればつけ加えておきましょう。
- 非常持ち出し品は定期的な点検をし、保存状態や使用期限などをチェックして、必要に応じて新しいものに交換しましょう。
- 一次持ち出し品(例)**
- 貴重品: 現金(10円がある)、公衆電話利用に便利、預金通帳、印鑑、免許証、保険証、権利証書など
 - 非常食: カンパンや缶詰など火を必要とせず食べられるもの。缶詰は、缶詰も忘れずに。
 - 救急医薬品・常備薬: ばんそうこう、傷薬、包帯、胃腸薬、持病のある人は常備薬など
 - 懐中電燈: できれば1人1つ、予備電池も
 - 携帯ラジオ: AM/FM両方聞けるものも、予備電池も
 - その他: ティッシュ、軍手、ロープ、マッチ、洗面用具、生理用品など
- 二次持ち出し品(例)**
- 飲料水: 1人1日3リットルを目安。ポリタンクなどに保存しておく。
 - 食糧: 米や簡単な調理で食べられる食品
 - 燃料: 卓上コンロや固形燃料
 - その他: ●赤ちゃんがいる場合: 粉ミルクやほ乳びん、離乳食、紙おむつなど
●お年寄りがいる場合: 予備のメガネ、入れ歯、補聴器、大人用おむつなど

耐震診断・耐震補強工事の助成制度について

高山市では、地震に強い安全なまちづくりを目指すため、市内の建物所有者を対象とした「耐震診断」、「耐震補強工事」の助成制度を設けています。この制度を受けるには、要件がありますので、詳しくは高山市基盤整備部整備課までお問い合わせください。

住宅の耐震性について

地震における木造住宅の倒壊率は、古い住宅ほど高く、耐震壁の少なさやバランス配置の悪さ、老朽化等が倒壊の原因であるといわれています。特に、昭和56年5月31日以前に着工している場合や平面の形状が不整形な場合等では、耐震性が低い傾向にあります。心当たりがある方は、専門家による「耐震診断」を受けましょう。

